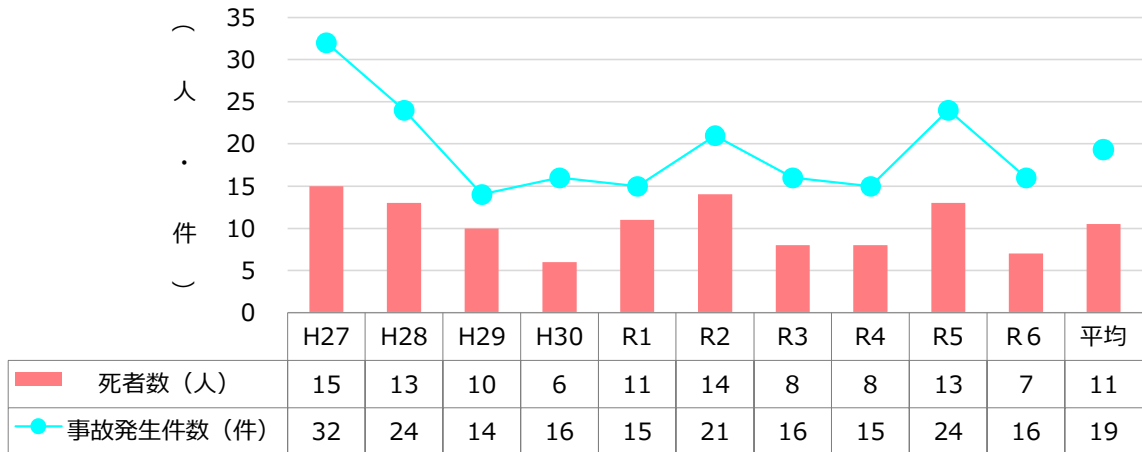


青森県内の農作業事故発生状況について

1 事故発生状況

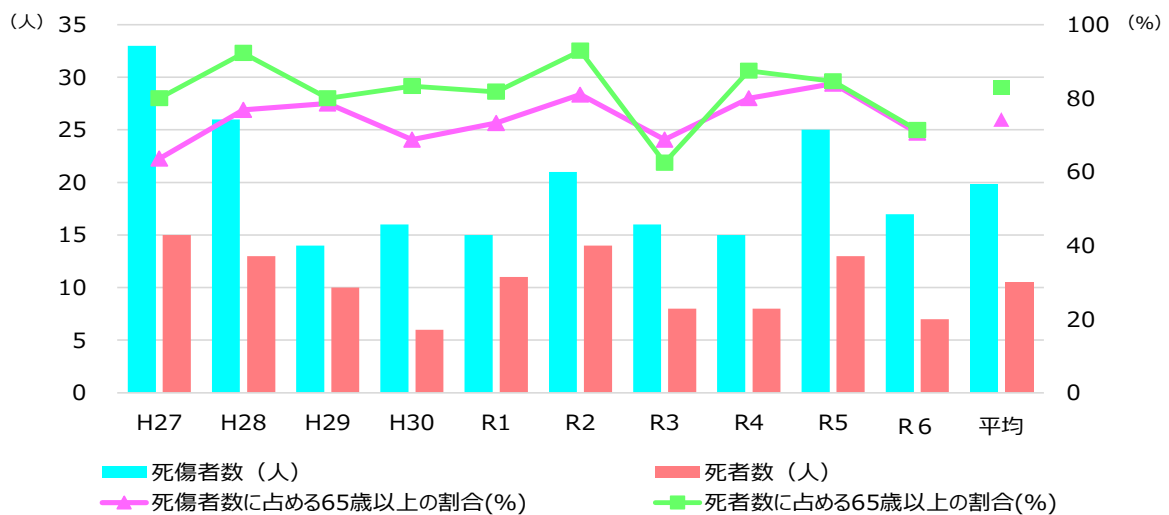
- 令和6年の事故発生件数は16件（前年から8件減）、死者数は7人（前年から6人減）であった。
- 過去10年間の平均では、事故発生件数が19件、死者数が11人となっている。



※調査方法は、新聞等の報道、警察、市町村、農協等からの聴き取り
 なお、令和6年は国の死亡個票調査結果が確定されるまでの暫定値

2 高齢者による事故発生状況

- 令和6年の農作業事故の死傷者数における65歳以上の割合は70.6%、死者数では71.4%であった。
- 過去10年間では、死者数における65歳以上の割合は、82.9%となっており、高齢者の割合が非常に高く、死亡事故につながるケースが多い傾向にある。



（死傷者数及び死者数における65歳以上の割合）

区分	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	平均
死傷者数（人）	33	26	14	16	15	21	16	15	25	17	19.8
うち65歳以上(人)	21	20	11	11	11	17	11	12	21	12	14.7
65歳以上の割合(%)	63.6	76.9	78.6	68.8	73.3	81.0	68.8	80.0	84.0	70.6	74.2
死者数（人）	15	13	10	6	11	14	8	8	13	7	10.5
うち65歳以上(人)	12	12	8	5	9	13	5	7	11	5	8.7
65歳以上の割合(%)	80.0	92.3	80.0	83.3	81.8	92.9	62.5	87.5	84.6	71.4	82.9

3 農機具別発生状況

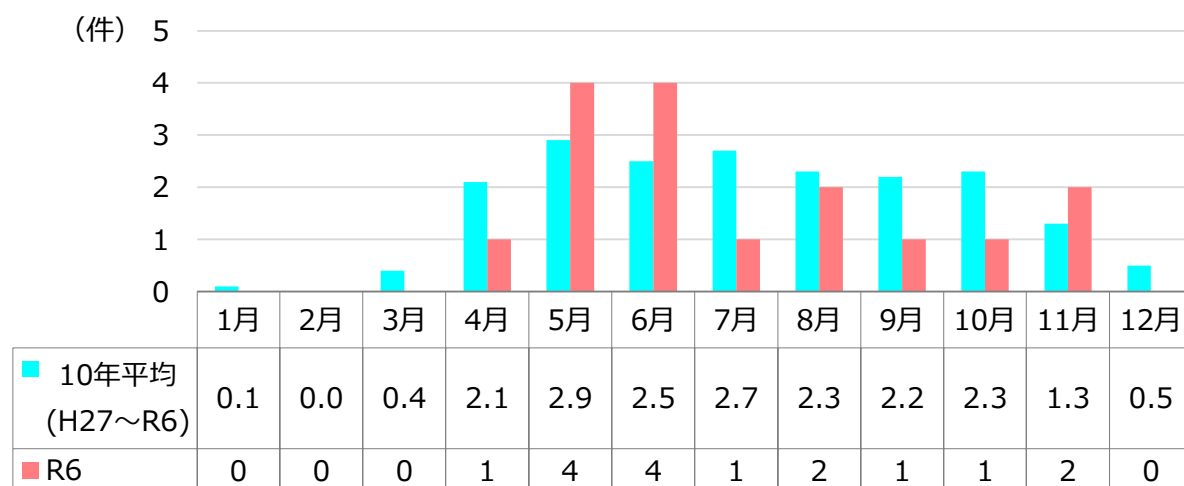
- 令和6年の農機具別事故発生件数は、乗用トラクター3件、スピードスプレーヤー3件、乗用草刈機2件、機械なし3件などであった。
- 平成27年～令和6年の10か年で最も事故発生件数が多いのは、乗用トラクターによる事故で全体の17.6%を占めているほか、スピードスプレーヤーと脚立による事故が11.4%となっている。
- 乗用トラクターは、農作業での使用頻度が高いことから、事故件数が多くなっているものと考えられる。
- 本県ではスピードスプレーヤー、高所作業台車、乗用草刈機、脚立といった果樹で使用する機械等の事故件数の発生が多いのも特徴である。

機種	R6		R5		10か年（H27～R6合計）			
	事故件数	割合%	事故件数	割合%	事故件数	割合%	死者数	割合%
乗用トラクター	3	18.8%	5	20.8%	34	17.6%	29	27.6%
歩行用トラクター	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%	1	1.0%
スピードスプレーヤー	3	18.8%	2	8.3%	22	11.4%	10	9.5%
農用運搬車	1	6.3%	1	4.2%	6	3.1%	4	3.8%
乗用草刈機	2	12.5%	2	8.3%	12	6.2%	8	7.6%
歩行型草刈機	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%
コンバイン	0	0.0%	1	4.2%	6	3.1%	3	2.9%
トレンチャー	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%	1	1.0%
田植機	0	0.0%	0	0.0%	2	1.0%	0	0.0%
高所作業台車	1	6.3%	1	4.2%	14	7.3%	8	7.6%
その他	3	18.8%	5	20.8%	45	23.3%	22	21.0%
うち、刈払機	1	6.3%	0	0.0%	6	3.1%	1	1.0%
機械なし	3	18.8%	7	29.2%	48	24.9%	18	17.1%
うち、脚立	3	18.8%	2	8.3%	22	11.4%	9	8.6%
	16	100%	24	100%	193	100%	105	100%

※ R6 その他：軽トラック、ホイールローダー、R5 その他：薬剤散布機、軽トラック、ローラーベラー、クレーン、トレーラー、R5 機械なし：クマ3件、熱中症、作業小屋で転倒

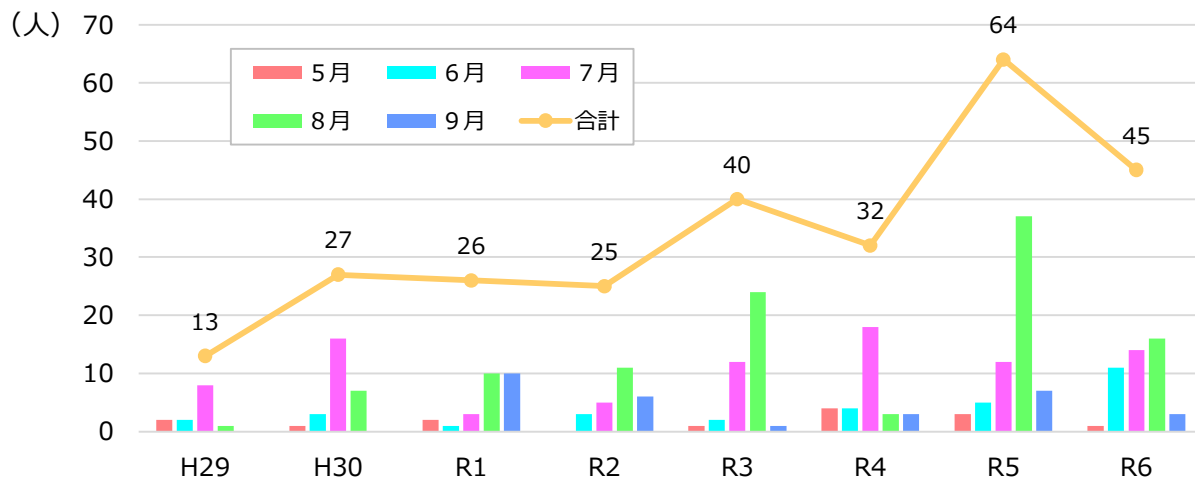
4 月別発生状況

- 令和6年の月別発生件数は4月～11月までの間、月1～4件発生している。
- 過去10年平均の月別発生件数では、4月～10月に事故の発生が目立っている。



5 熱中症による救急搬送状況

- ・消防庁が公表する「夏期における熱中症による救急搬送人員の調査」によると、過去8年の本県の田畑、森林、海、川等における熱中症による救急搬送者は増加傾向となっている。
- ・令和6年は45名が救急搬送された。



※消防庁「夏期における熱中症による救急搬送人員の調査」のうち、発生場所が仕事場②田畑、森林、海、川等（農・畜・水産作業を行っている場合のみ）のもの

6 市町村別発生状況

- ・令和6年に農作業事故の発生があった市町村は11市町村で、弘前市・つがる市が3件で最も多く、次いで大鰐町が2件、青森市、田子町、五所川原市、鰺ヶ沢町、板柳町、鶴田町、中泊町、東通村が1件であった。
- ・過去5か年の合計では、弘前市が22件と最も多く、次いで五所川原市が9件、五戸町、十和田市が5件などであった。
- ・過去5か年中に農作業事故の発生がなかったのは、13市町村であった。

◆令和6年発生市町村

No	市町村	件数
1	青森市	1
2	弘前市	3
3	大鰐町	2
4	田子町	1
5	五所川原市	1
6	つがる市	3
7	鰺ヶ沢町	1
8	板柳町	1
9	鶴田町	1
10	中泊町	1
11	東通村	1

◆過去5か年（R2～R6）に発生が多かった市町村

No	市町村	件数
1	弘前市	22
2	五所川原市	9
3	五戸町	5
4	十和田市	5
5	黒石市	4
6	平川市	4
7	南部町	4
8	つがる市	4
9	中泊町	4
10	青森市	3
11	西目屋村	3
12	板柳町	3
13	六戸町	3

◆過去5か年（R2～R6）に発生がなかった市町村

No	市町村	件数
1	今別町	0
2	外ヶ浜町	0
3	田舎館村	0
4	階上町	0
5	深浦町	0
6	野辺地町	0
7	横浜町	0
8	東北町	0
9	おいらせ町	0
10	むつ市	0
11	大間町	0
12	風間浦村	0
13	佐井村	0